



福井市水道事業ビジョン 2020【2024 中間見直し版】における各種施策や数値目標の達成状況について、令和7年度末時点における進捗状況を検証しました。

1 各種施策の進捗状況

基本目標1【水質管理の強化】

- 水質検査計画に基づく水質検査の実施：179 成分
※北陸3県の水道事業体で唯一、水道G L P（日本水道協会が、水質検査に精度と信頼性を保証する認定制度）を取得しています
- 配水池の清掃、水道管の洗管作業を実施
- 鉛製給水管の解消を推進（R7 布設替件数：301 件）

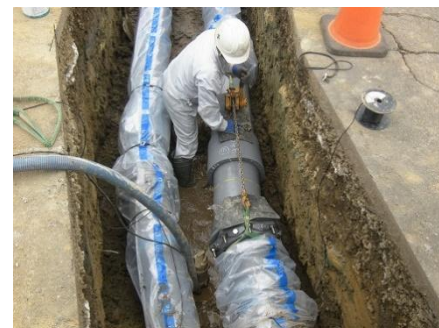
<水道G L P 認定証>



基本目標2【安定した水道水の供給】

- 安定した水源確保のため、井戸の揚水試験や水質検査を実施
：49 箇所
- 漏水調査の実施 ： 520 km
- 原目配水池の流量圧力調整設備を更新
- 無ライニング铸铁管（※）を更新 ： 2.0 km
※無ライニング铸铁管とは、管の内面に防食対策が施されていない铸铁管

<水道管の布設状況>



基本目標3【水道施設の耐震化】

- 浄水施設 ： 九頭竜浄水施設更新について、総合評価一般競争入札による事業者選定の準備
- 配水池 ： 原目配水池更新工事（詳細設計、管理用道路築造）
- 重要給水施設配水管 ： 190m更新
- 基幹管路 ： 森田川西送水管 975m更新
その他導送配水管 91m更新

<ダクタイル铸铁管（※）の耐震性>



<ダクタイル铸铁管の布設状況>



※ダクタイル铸铁管（GX）とは、100 年を超える使用が可能な高い耐震性を有する管のことで、本市では平成 23（2011）年から採用しています。

1 各種施策の進捗状況

基本目標4【災害対策の強化】

- 移動電源車の導入：江端浄水場非常用発電機の代替と、各施設の仮設電源利用のため移動電源車1台を導入
- 訓練の実施：BCP訓練（風水害訓練1回、地震訓練1回）等

<移動電源車>



<BCP訓練（地震）>



基本目標5【お客様サービスの向上】

- 水道料金におけるスマートフォン決済の継続実施
- 水道事業に関するPR、情報発信

<上下水道のミカタの発行>
年3回 全戸配布



<上下水道展の開催>
約1,000人 来場



<上下水道すいすいカルタ配布>
配布部数：約2,200部



基本目標6【経営基盤の強化】

- 水の官民連携（ウォーターPPP）導入可能性調査に着手

基本目標7【人材の育成】

- 局内技術研修センターによる研修：15研修
（給水車運転操作、非常用貯水装置操作、漏水調査に関する研修会等）
- 日本水道協会主催による研修への参加：5研修
（水道技術者ブロック別研修会、水道技術管理者研修会、事務講習会、技術講習会、技術技能研修）

<給水車運転操作研修会>



<非常用貯水装置操作研修会>



基本目標8【環境負荷の低減】

- 建設副産物のリサイクル率：64.0%（目標値50%以上）
- 浄水発生土の有効利用率：100.0%（目標値100%）
- 配水量1m³あたりの電力消費量：0.41KWh/m³（目標値0.40KWh/m³）

2 各種指標の推移と達成度評価

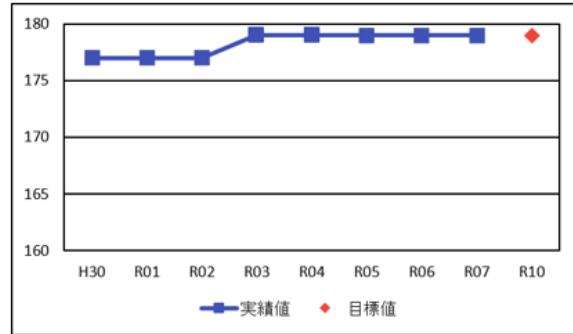
No. 1 原水水質監視度

評価：◎

(単位:項目)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
原水水質監視度	177	177	177	179	179	179	179	179	179

※原水水質監視度=原水水質監視項目数



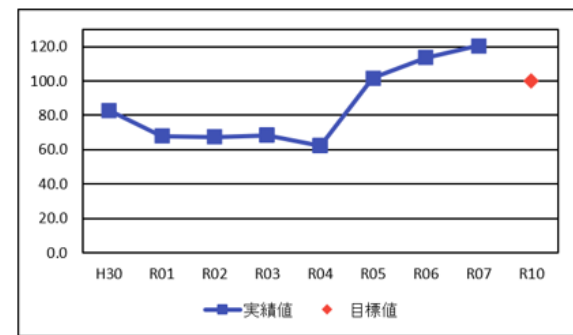
No. 4 配水池清掃実施率

評価：○

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
配水池清掃実施率	82.8	67.8	67.4	68.3	62.3	101.6	113.7	120.5	100

※配水池清掃実施率=(5年間に清掃した配水池有効容量/配水池有効容量)×100



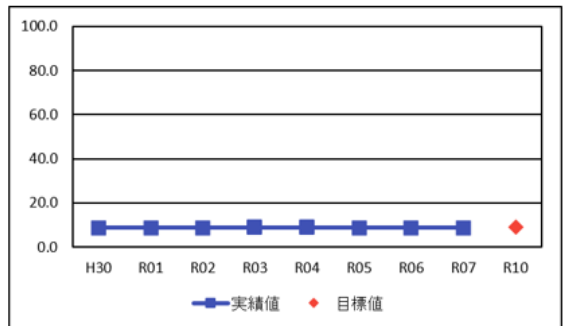
No. 7 浄水施設の耐震化率

評価：○

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
浄水施設の耐震化率	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6	9.1

※浄水施設の耐震化率=(耐震対策の施された浄水施設能力/全浄水施設能力)×100



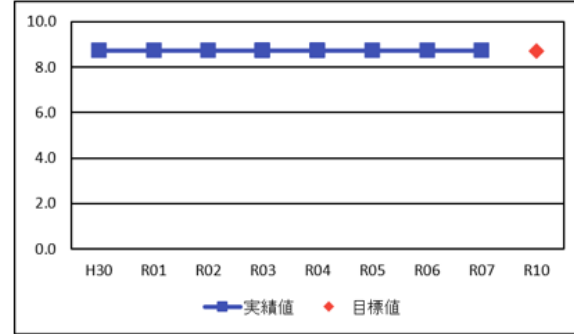
No. 2 給水栓水質検査(毎日)箇所密度

評価：◎

(単位:箇所/100km²)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
給水栓水質検査(毎日)箇所密度	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7

※給水栓水質検査(毎日)箇所密度=(給水栓水質検査(毎日)採水箇所数/現在給水面積)×100



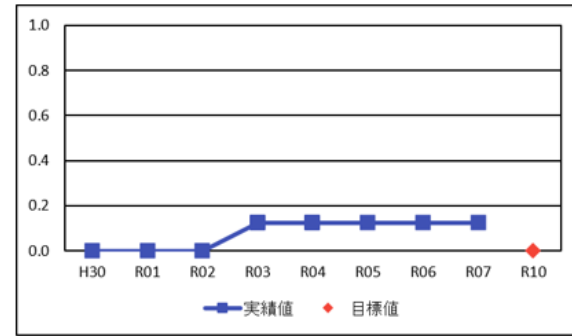
No. 5 浄水場事故割合

評価：△

(単位:件/10年・箇所)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
浄水場事故割合	0	0	0	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0

※浄水場事故割合=10年間の浄水場停止事故件数/浄水場数



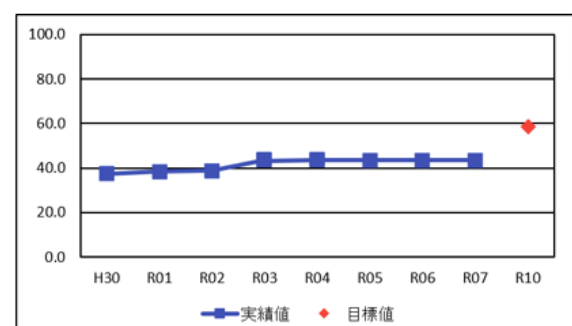
No. 8 配水池の耐震化率

評価：○

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
配水池の耐震化率	37.5	38.4	38.8	43.4	43.5	43.5	43.5	43.5	58.6

※配水池の耐震化率=(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量)×100



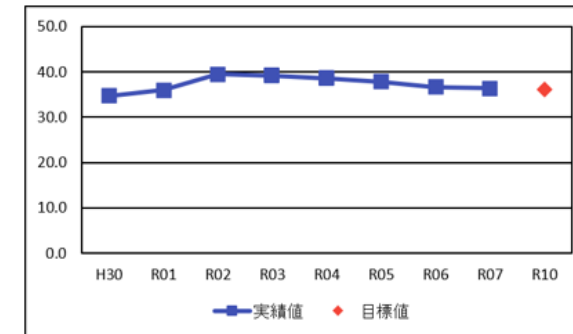
No. 3 鉛製給水管率

評価：○

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
鉛製給水管率	34.7	35.9	39.5	39.1	38.5	37.8	36.7	36.4	36.2

※鉛製給水管率=(鉛製給水管使用件数/給水件数)×100



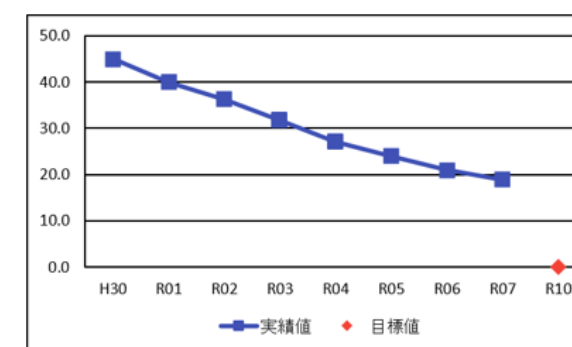
No. 6 無ライニング铸铁管残存数

評価：○

(単位:km)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
無ライニング铸铁管残存数	45.0	40.0	36.3	31.8	27.1	24.0	20.9	18.9	0

※無ライニング铸铁管残存数=管内面に防食対策が施されていない铸铁管の残存延長



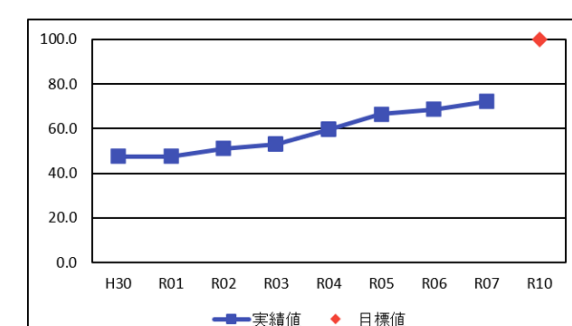
No. 9 重要給水施設配水管路の耐震管率

評価：○

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
重要給水施設配水管路の耐震管率	47.6	47.6	51.1	53.1	59.7	66.4	68.5	72.2	100

※重要給水施設配水管路の耐震管率=(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長/重要給水施設配水管路延長)×100



2 各種指標の推移と達成度評価

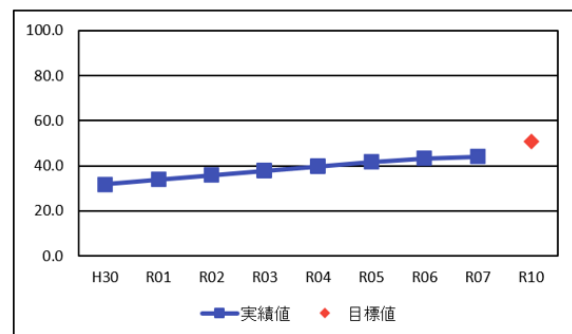
No. 10 基幹管路の耐震適合率

評価：○

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
基幹管路の耐震適合率	31.8	34.0	35.8	37.5	39.6	41.7	43.2	44.1	50.6

※基幹管路の耐震適合率=(基幹管路のうち耐震適合管延長/基幹管路延長)×100



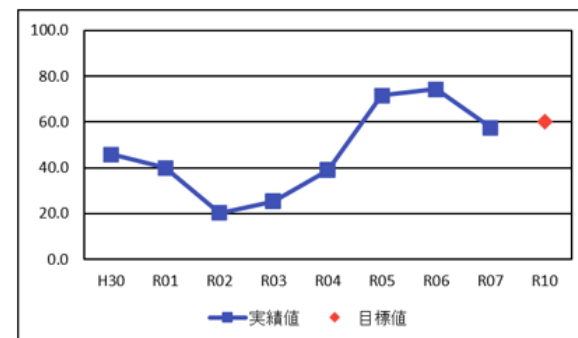
No. 11 水道施設見学者割合

評価：○

(単位:人/1000人)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
水道施設見学者割合	45.8	39.9	20.1	25.3	38.8	71.5	74.3	57.6	60

※水道施設見学者割合=見学者数 / (現在給水人口/1,000)



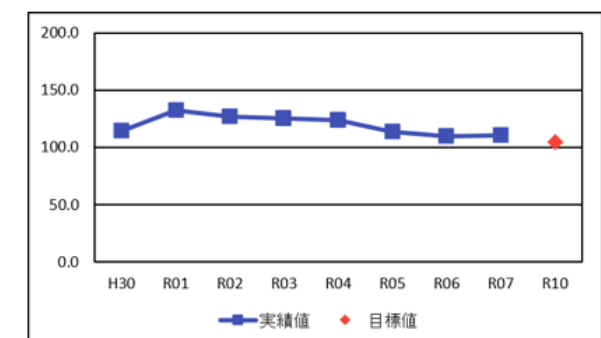
No. 12 経常収支比率

評価：◎

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
経常収支比率	115	132	127	125	124	114	110	111	105

※経常収支比率=(経常収益 / 経常費用) × 100



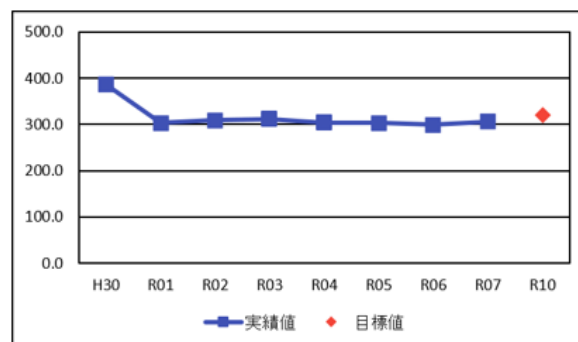
No. 13 給水収益に対する企業債残高の割合

評価：◎

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
給水収益に対する企業債残高の割合	386	303	309	311	304	303	299	306	320

※給水収益に対する企業債残高の割合=(企業債残高/給水収益)×100



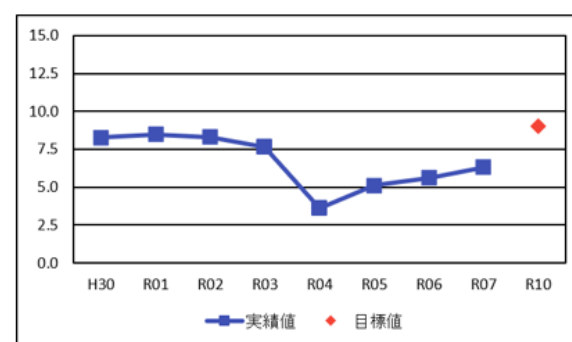
No. 14 内部研修時間

評価：△

(単位:時間/人)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
内部研修時間	8.3	8.5	8.3	7.7	3.6	5.1	5.6	6.3	9

※内部研修時間=(職員が内部研修を受けた時間×受講人数) / 全職員数



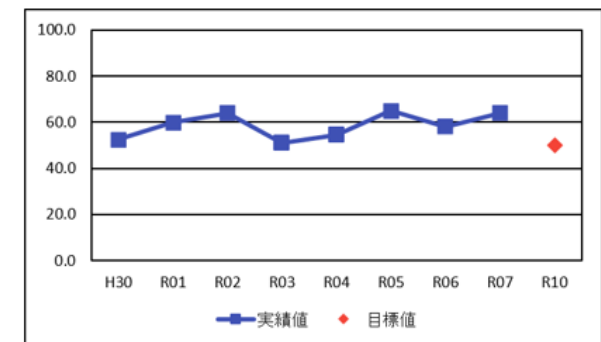
No. 15 建設副産物のリサイクル率

評価：◎

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
建設副産物のリサイクル率	52.3	59.8	63.9	51.0	54.4	65.0	58.0	64.0	50以上

※建設副産物のリサイクル率=(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100



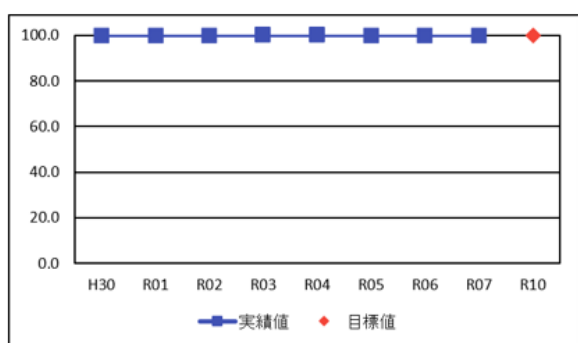
No. 16 浄水発生土の有効利用率

評価：◎

(単位:%)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
浄水発生土の有効利用率	100	100	100	100	100	100	100	100	100

※浄水発生土の有効利用率=(有効利用土量/浄水発生土量)×100



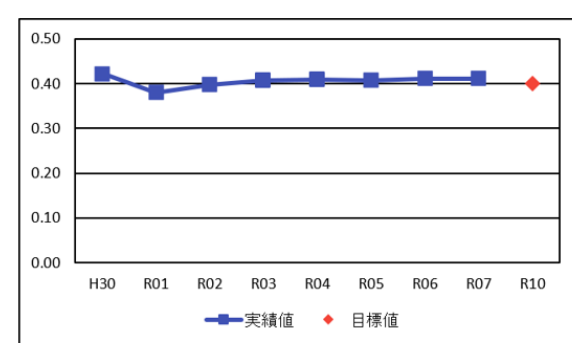
No. 17 配水量1m³当たり電力消費量

評価：○

(単位:kWh/m³)

業務指標(PI)	実績値								目標値
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R10
配水量1m³当たり電力消費量	0.42	0.38	0.40	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.4

※配水量1m³ 当たり電力消費量=電力使用量の合計/年間配水量



【指標の分析】

- ・耐震化については、ほぼすべての水道施設で目標値を未達成であることから、大規模化・頻発化する地震に備え、計画的かつ着実に耐震化を進めていく必要があります。
- ・「No. 12 経常収支比率」、「No. 13 給水収益に対する企業債残高の割合」は、いずれも目標値を達成し推移しており、現時点では健全な経営状態といえます。

3 決算状況

【決算状況】

※金額は百万円単位で四捨五入 () 内の数値は対前年度増減率

収益的収支：収益面では、人口減少に伴う給水収益の減などにより、営業収益は41億2,300万円(△0.6%)となりました。

<福井市水道マスコット「アクア」>

また、労務単価の上昇に伴う徴収事務負担金の増などにより、営業外収益は6億2,100万円(+9.7%)、固定資産売却益による特別利益は1,900万円となり、これらを合わせた総収益は47億6,300万円(△1.0%)となりました。

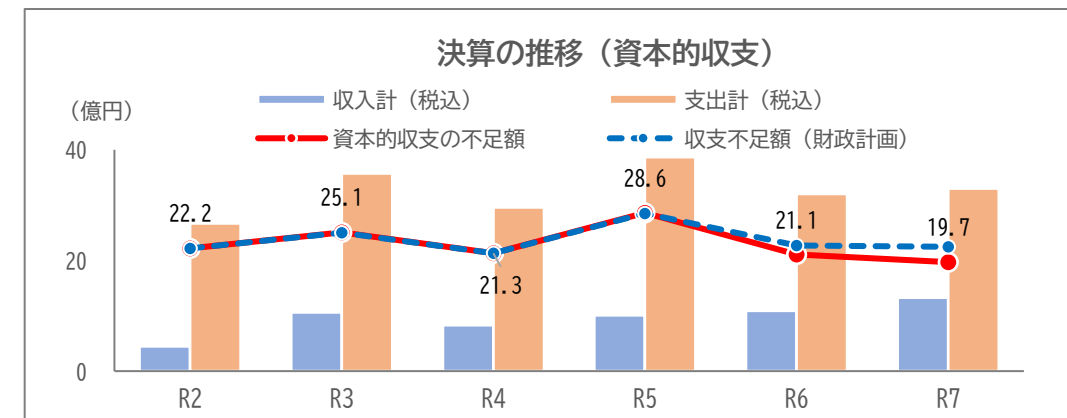
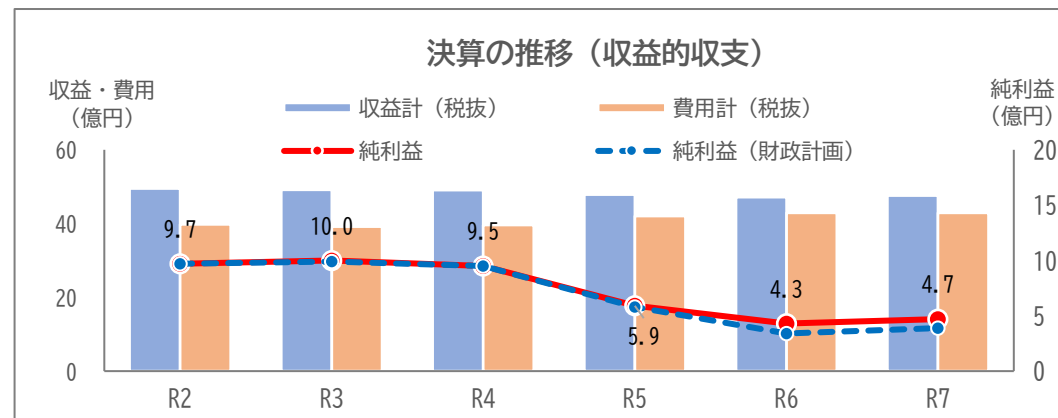
費用面では、漏水補修工事に係る費用などが増加する一方、原水及び浄水費における修繕引当金の取り崩しにより、営業費用は41億1,500万円(△0.1%)となりました。また、営業外費用は1億7,100万円(△0.9%)、固定資産売却損による特別損失7万円を計上し、これらを合わせた総費用は42億8,600万円(△0.1%)となりました。

この結果、当期純利益は4億7,700万円(+11.7%)となりました。

資本的収支：収入面は、企業債発行額の増などにより、13億2,500万円(+22.0%)となりました。

支出面では、建設改良費の増加により、33億円(+3.0%)となりました。

この結果、資本的収支の不足額は19億7,500万円(△6.7%)となり、留保資金や収益的収支で生じた利益等で補填しています。



【財政計画（水道事業ビジョン2020【2024中間見直し版】）との比較】

【単位：億円】

	収益的収支			資本的収支		
	収益	費用	純利益	収入	支出	不足額
財政計画	46.9	42.9	3.9	18.5	41.0	22.5
R7決算	47.6	42.9	4.7	13.3	33.0	19.7

- ・収益的収支については、労務単価の上昇に伴う徴収事務負担金費の増加などにより、純利益が、水道事業ビジョンの計画値よりも増加しました。
- ・資本的収支については、第8次整備事業繰越による支出の減少により、資本的収支の不足額が、水道事業ビジョンの計画値よりも減少しました。